

# Q&A

## つかえ感を主訴に来院した 70 歳代男性

### 【問 題】

症例：70 歳代，男性。

主訴：つかえ感。

現病歴：201X 年頃から食事の際につかえ感を自覚。食べ物がつかえたときは水で流し込んでいた。胸焼けや吞酸はなし。精査目的に上部消化管内視鏡検査を施行することとなった。

既往歴：アレルギー性鼻炎，前立腺肥大。

生活歴：飲酒歴なし，喫煙歴なし。

家族歴：特記すべきことなし。

来院時現症：身長 154.5cm，体重 47.5kg，体温 36.2℃，血圧 114/60mmHg，脈拍 62/分，腹部に異常所見なし。

血液検査所見：WBC 4400/ $\mu$ l（NEUT 75.3%，LYMP 18.3%，MONO 4.1%，EOSINO 1.8%，

BASO 0.5%），RBC  $448 \times 10^4$ / $\mu$ l，Hb 13.5g/dl，Ht 40.1%，Plt  $15.4 \times 10^4$ / $\mu$ l，TP 7.3g/dl，Alb 4.0g/dl，AST 24U/l，ALT 15U/l，LDH 226U/l，ALP 212U/l， $\gamma$ -GTP 15U/l，BUN 17mg/dl，Cre 0.61mg/dl，T-Cho 179mg/dl，Na 140mmol/l，K

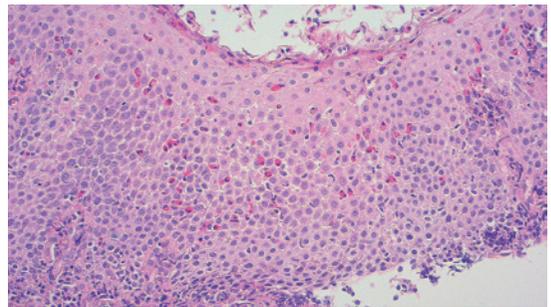


Figure 2. 食道生検の病理組織所見。

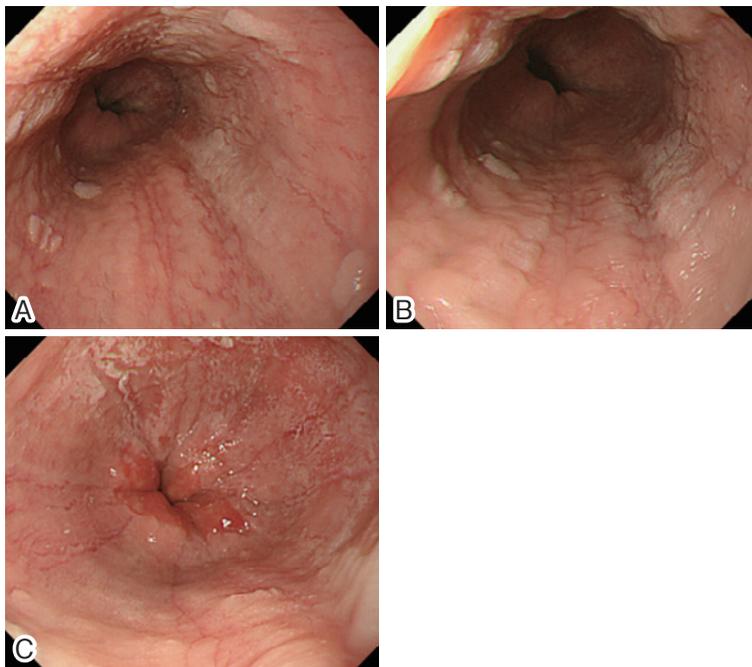


Figure 1. 上部消化管内視鏡検査。

4.1mmol/l, Cl 102mmol/l.

上部消化管内視鏡検査 (Figure 1) と食道生検の病理組織所見 (Figure 2) を示す.

1. 考えられる疾患は？
2. 治療方針は？